

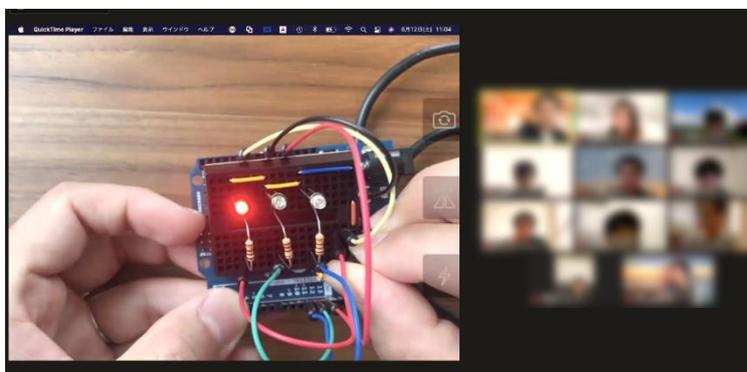
第7期 次世代 IoT ワークショップ プロトタイピング講座 (全 12 回) ・
オンライン作品展示・成果発表会 報告

2021 年 5 月 15 日から 9 月 25 日にかけて、「次世代 IoT ワークショップ プロトタイピング講座 (全 12 回)」を実施した。

講師にはプロトタイピング講座で高い研修実績を誇る岩崎 健一郎氏 (株式会社 H2L 代表取締役社長) の協力を得て実施した。この講座は IoT(Internet of Things)時代には、ソフトウェア技術者であってもハードウェア構造を理解し、ハードウェアを作り出す基礎スキルを修得することが重要であるとの狙いのもと開講されている。参加者は JISA 会員を中心とした 12 名。全 12 回のプログラムは下記の通り。

| 前半 | テーマ | 後半 | テーマ |
|-----------------|--|------------------|---|
| 第 1 回 (5/15) | プログラミング環境のセットアップ LED の点滅制御  | 第 7 回 (7/24) | ブレインストーミングで製作する 装置を決定  |
| 第 2 回 (5/22) | 回路図と電気用図記号 ブレッドボ ードを使った回路製作  | 第 8 回 (7/31) | 設計と部品調達方法 製作とプログラミング その 1  |
| 第 3 回 (5/29) | スイッチの ON/OFF センシング 色々なセンサによるセンシング  | 第 9 回 (8/14) | 製作とプログラミング その 2   |
| 第 4 回 (6/12) | PWM 制御とアクチュエータ  | 第 10 回 (8/28) | 製作とプログラミング その 3   |
| 第 5 回 (6/26) | 半田付けに挑戦してみよう  | 第 11 回 (9/11) | ハードウェアのテストとデバッグ   |
| 第 6 回 (7/3) | PC や Raspberry Pi との連携 IoT プログラミング  | 第 12 回 (9/25) | 作品展示方法 (行列ができる展示 のコツ) まとめ   |

今年で第7期となった本研修は毎年隔週土曜日、月2回の開催ペースでの開催。今年は昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、原則 Zoom にて開催し、講義内容に合わせ適宜オンサイトでの講義受講を選択可能とした。



Zoom での作業は講師の手元を画面共有



自主製作のアイデア出しもオンラインホワイトボードで行った



半田ごて等危険な作業を伴ったり、講師に作業面での質問がある場合は希望者に対しオンサイトにて講義を行った

オンライン作品展示・成果発表会 報告

全 12 回の成果の発表と場として、有志の受講者が作品を展示できる「第 7 期 IoT ワークショップオンライン作品展示・成果発表会」を 2021 年 10 月 9 日（土）13 時から 14 時 30 分まで Remo Conference という Web 会議システムを利用し開催した。今回は 7 名の受講者が出展し、オンラインで集まった約 15 名の来場者に向け、それぞれ自らの作品の説明を行った。



Remo 内の小部屋を 1 ブースとして作品展示を行った



実際に展示された受講者の作品

Remo Conference ではそれぞれの出展者が 1 スペースを保有することができ（上図の黄色枠）、来場者は自由に出展者のスペースをダブルクリックで移動でき、スペースごとにグループでの会話が可能。参加者は順々にスペースを移動し、出展者との交流を楽しんだ。

展示された作品等の詳細は会報にて掲載予定である。

（會木）